

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(集排)中山地区一般業務			
予算科目	1 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	下水道課	電話番号(内線):	576
記入者情報	所属長:	向井 英文	担当責任者:	岡本 千明
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	中山地区農業集落排水地域			
根拠法令等	水質汚濁防止法 伊予市条例			
事業の目的	農業集落排水事業を実施するにあたり一般管理事務を行い、事業の円滑な遂行を目的とする。			
事業の内容	施設の維持管理のための、料金収受、汚水管渠への接続申請、検査			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	使用料収入を把握しながら経費の管理に努める。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	353	1,638	1,043	1,208
	人件費	732	1,908	954	1,908
	合計	0	3,546	1,997	3,116
人件費 内訳	人工数	0.09	0.24	0.12	0.24
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	732	1,908	954	1,908
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	1,085	3,546	1,997	3,116
	一般財源	0	0	0	0

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
一般事業費	千円	353	1638	1043	1208

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	510	510	550	550	550	2,670

成果指標				
成果指標	業務費と料金収入の割合を比較することで捉える。業務費÷収入額×100(%)を表示			
指標設定の考え方	業務事務費と収入額の比較を対比することで、コスト率を数値化する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	9.7	9.6	0	0
実績	6.66	22.07	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	人口の減少等により接続の増加が見込めないため、使用料の滞納状況を把握し、水道課の給水停止と連携した納付の履行や個別対応に取り組み、徴収率の向上に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	2	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	使用料については、給水停止の対策を取ることで、高い徴収率を維持しているが、滞納者が増えないよう電話督促等により早期の対応が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題